

みんなでイベント体験 イベントを創ろう！について



座学：企画書について



忍者体験WS準備 設営体験



忍者体験WS準備 壁紙作成



忍者体験WS準備 進行確認

『みんなでイベント体験 イベントを創ろう！』は、今年で10年目を迎える宝塚文化創造館の代表的な参加型プログラムです。
このイベントは、地域の皆さまが「観る側」から「創る側」へと一歩踏み出し、文化芸術の担い手となることを目的にスタートしました。

参加者は、企画書の作成から、アイデアの出し方、イベント準備、当日の運営まで、イベントのプロセスを体験します。

実際に宝塚文化創造館で開催している『殺陣入門』『忍者体験』『歌劇メイク』『長寿展』『宝塚ぼうさい劇場』など、実際のイベントの準備や運営に参加しながら、プロのアーティスト、スタッフのサポートを受けながら、世代を超えたチームで一つ一つのイベントを創り上げていきます。

参加者の皆様は、地元を盛り上げたい！イベント開催のノウハウを学びたいやPTA活動に活かしたい、舞台の仕事がしたい、ボランティア活動に活かしたいなど、多くの「やってみたい！」という想いで、ご参加いただき、ワークを終えた後、街のいろいろな場所で形になっています。

各地域でのイベント開催、自治会での歌声サロンの開設、舞台人として就職、紙芝居全国大会の開催など、10年の歩みの中で、地域の絆が深まり、新たな才能が芽吹き、文化が育まれてきたことは、私たちの誇りです。

みんなでイベント体験 イベントを創ろう！について



忍者体験WS「忍び」の説明



忍者体験WS「手裏剣投げ」



忍者体験WS「体さばき」



忍者体験WS「吹き矢体験」

イベント実習事例（忍者体験ワークショップの場合）

目的：イベントの企画から運営までを実践的に学ぶ。

実習内容：

(企画理解) 事前に企画書を確認し、**イベントの全体像を把握。**

(仕込み体験) 舞台図面をもとに、実際の**会場設営を体験。**

(演出制作) ・「怖い声」の録音による音響演出（舞台音響）

・ペンキを使った壁紙制作（舞台美術）

(運営体験) スタッフは忍者となって参加者を応援しながら、受付や安全管理などを実践。

<忍者体験ワークショップ 概要>

目的：参加者が忍者体験を通じて舞台芸術や日本文化（礼儀作法・所作など）にふれ、**家族の絆**を深めることを目指す。特に、**大人（父親・母親）が「格好良く」「頼もしく」見える演出**を取り入れ、夏休みの**家族での思い出作り**を促進する。

～ワークショップの流れ～

導入（3階 日舞教室・バレエ教室使用）

- 正座やお辞儀など、忍者の首領に会うための礼儀作法を学ぶ。
- 忍者修行のデモンストレーションを見学。

物語の展開

- 妖怪復活の知らせが入り、参加者は忍び足で急遽ホールへ移動。

試練（1階ホール使用）

- ホールは、妖怪屋敷のような空間で、合言葉・体さばき・手裏剣投げなどの修行・試練に挑戦。
- 最後に全員で吹き矢を使い、妖怪を封印。

みんなでイベント体験 イベントを創ろう！について

イベント実習事例（元気な長寿の仲間たち展の場合）

今年で13回目を迎える『元気な長寿の仲間たち展』は、宝塚文化創造館が地域の高齢者とともに歩んできた、温かく力強いアート展です。

この展覧会は、宝塚市展に出展された**80歳・90歳を超えてなお創作活動に励む皆さま**の絵画や写真を紹介するもので、年齢を重ねてもなお輝き続ける「**表現する力**」と「**生きる喜び**」を広く発信しています。

公募展ではなく、あくまで宝塚市展にエントリーされた方で80歳以上の方に呼びかけた展覧会となっており、作品に込めた想いをコメントにして展示したり、また出展者への応援メッセージが送られるような仕掛けがあり、出展された方の長寿を祝う表彰式があったりと、出展された方、鑑賞された方がともに元気になる展覧会になっております。



出品者の集い



岡田敬二名誉館長から表彰状授与

みんなでイベント体験 イベントを創ろう！について

準備では、展示ストーリーや企画やアイデア、鑑賞について学びながら、搬入や展示を体験します。

特に**搬入日**や**展示日**は楽しくて、長寿の**出展者さん**に直接お話も聞けますし、展示レイアウト日は、市内在住の**美術家・写真家の先生**に、**展示やレイアウトのコツ**を直接聞きながら作業できるので、世代を超えたつながりを感じることができます。



市内在住の美術家・絵本作家の中辻悦子先生が展示位置を参加者と考えている様子